

## アートによる共生社会づくり事業

### 取組に至る背景・事業の目的

近年、諏訪地域では人口の少子高齢化に伴い子どもの数が激減する中、特別支援学級や養護学校の児童数は増えており、障がいをもつ子どもの割合は増えている。また、高齢化による身体・精神・認知の障がいを後天的に得る人も増えており、地域全体で障がいのある人の割合が増加しているといえる。このような状況から、地域を元気にできるかどうかは、障がいのある人とない人が共に豊かに暮らせる共生社会の形成にかかっている。私たちは障がい者の芸術活動であるアールブリュットの場で、地域の人々が障がいの有無を越え一緒に活動し、相互理解を深め、さらに、アート自体が持つ力により、地域全体がエンパワーメントされることを目指した4つの活動を実施した。

### 事業内容

障がい者アートの力の素晴らしさを、多くの人に伝える活動により、障がいの有無をこえた包括的かつ多様性のある共生社会づくりが推進されることにより、諏訪地域を元気にすることを目的として、以下の事業を行った。

- ① 著名な講師を招いてのアートワーク&セミナー
- ② 毎月定期的に行う身体表現のワークショップ
- ③ 作品の常設展
- ④ 作品のリース事業
  - ・アートワーク&セミナー：7/6、7 延べ84人参加
  - ・身体ワーク：4月～3月 11回 延べ48人参加
  - ・アート作品常設展：4月～3月 約1000人が来場
  - ・アート作品リース事業：4月～3月 延べ33件貸与



【アートワーク&セミナー】

### 事業効果

7月のセミナーでは、ワークの方法論のみならず、根底にあるエッセンスを経験豊富な講師陣から学び、ワークの中で実践することで、より高度なスキルアップができた。また、参加した子どもたちには、地方では体験できないワークを体験する機会となった。その他、月1回の定期ワークや、常設の作品展、リース事業により、多くの人々に障がい者の作品に触れる機会を提供でき、共生社会づくりが推進した。アート作品の発表の場、制作費用を提供できたことで、今年度は中央の作品展に作品を応募し、入選かつ入賞を果たした方もおられた。大きな成果であったと感じている。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

これまで、障がい者アートには①経済的な支援、②発表の場、③制作場所の3つが不可欠だと考え、事業を実施してきたが、2020年2月に作品を制作するアトリエを備えた就労支援事業所を開設することができた。今後は、この事業所を核として、引き続き地域における障がい者アートの支援と共生社会づくりを継続していきたいと考えている。

#### 【選定のポイント】

地域住民が障がい者と一緒にアート活動し、障がい者の芸術文化に触れることにより相互理解が深まり、共生社会づくりが期待される。

団体名	アートで共生社会づくりを目指す会（下諏訪町）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0266-55-7213	事業費	902,322円
Mail	info@seeds2008.org	支援金額	721,000円